

# 国際融合文化学会

International Society for Harmony & Combination of Cultures

ISHCC ニュースレター 第4号 (2001.06.18)

モットー：全ての生あるものがその「生」を享受し全うしうる調和を創造すること

## ISHCC 国内第二回大会 (京都大会) 大盛況



(写真：上田会長による能ハムレットの舞)

三月の第一回東京大会に引き続き、国内第二回大会の京都大会も大盛況の内に幕を閉じました。今回は二日間のプログラムとなり、学生による研究発表、上田会長による能楽実技入門講座や英語能ハムレットのご講演と実演、そして外国人教師によるご講演など、とても盛りだくさんのプレゼンテーションがなされました。参加者は大会や懇親会を通して、多くのことを学び、多くの知己を得、そして大きな感動を各自の胸にしまわれたことでしょう。

参加者から多数の声が寄せられています。「とても有意義な二日間だった」、聞き手に興味を抱かせる講演だった、「能ハムレット」の実演に感動した。本当に素晴らしい大会でした。

今回行われたプレゼンテーションの内容は下記の通りです。

| 講演、研究発表 (12日) |  |                                |
|---------------|--|--------------------------------|
| 1             | 基調講演：融合文化の意義について                           | ISHCC 会長<br>日本大学大学院教授<br>上田 邦義 |
| 2             | 研究発表：「高砂」における閑心遠目<br>- 宗片邦義の謡い しじまの瞬間的直感 - | 日本大学大学院生<br>川田 基生              |
| 3             | 研究発表：シェイクスピア作品と能との融合への期待                   | 同、菊地 善太                        |

|   |  |                        |
|---|--|------------------------|
| 4 | 研究発表：真の実存主義者 和尚について  | 同、宮西 直子                |
| 5 | 研究発表： Pearl S. Buck: House of Earth 三部作の一考察                            | 同、今清水 功                |
| 6 | 研究発表：融合文化文学論研究<br>- シェイクスピア能の場合 -                                      | 日本大学大学院生<br>西岡 妙子      |
| 7 | 研究発表：吉井勇書誌の試み<br>- 伝記 全集への基礎作業として -                                    | 日本大学大学院修了<br>貫井 正也     |
| 8 | 講演： My Teaching Experiences with Japanese Children<br>日本の子供たちへの私の英語教育法 | 愛知大学講師<br>Joseph BLUTE |

| 能楽実技講座 及び 講演 (13日) |  |  |
|--------------------|--|--|
| 1                  | 能楽実技入門：<br>謡い： 高砂』から祝言小謡 (しゅうげんこうたい)<br>仕舞： 熊野』から 立ち出でて。 峰の雲」  | ISHCC 会長<br>日本大学大学院教授<br>上田 (宗片) 邦義                      |
| 2                  | 講演：禅意識と尺八<br>Zen Awareness and Shakuhachi  | 日本大学大学院講師<br>M arcus GRANDON                             |
| 3                  | 講演と実演： 英語能舞『ハムレット』<br>Noh Dance with English Noh Singing "Noh Hamlet"<br>(Solo Performance with Lecture) | ISHCC 会長<br>日本大学大学院教授<br>上田 (宗片) 邦義<br>UEDA M. Kuniyoshi |
| 4                  | 講演：日常生活における詩について<br>The Place of Poetry in Ordinary Life   | 成城大学講師<br>Frances CAUSER                                 |
| 5                  | 研究発表：元代詩集『甯室集』の日本における受容  | 京都大学大学院生<br>孫容成  |

## ISHCC 国内第三回大会は再び京都で

次回国内第三回大会を、2001年10月27日(土)午後1時から28日(日)午後5時頃迄、再び京都で開催することを予定しております。会場は、初日と二日目の午前は「関西セミナーハウス」(京都市左京区)、二日目の昼食と午後のプログラムは「東山山荘」(京都市山科区)となります。

秋の京都で皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

(文責：ISHCC 実行委員 菊地 善太)